

講義名	情報学概論			授業形態	
担当教員	上田 真由美	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

**主題と概要**

情報化社会の進展により、我々を取り巻く環境は大きく変化してきた。特に、近年のスマートフォンの普及により、個人による情報発信・収集が容易となったことで、情報化社会を支える仕組みを理解し、適切に行動することが求められる。本講義では、情報化社会において活用されている様々なサービスの特徴や、コンピュータおよびインターネットの仕組みについて学ぶ。情報学に関する基本的な項目を学習することにより、情報化社会を支える仕組みについて議論する。

**到達目標**

情報学に関する基本的な項目を理解し、情報化社会において情報技術を用いた解決策を提案し、適切な行動が行えるようにする。また、IT/バスポート試験のテクノロジー系の問題を解答できるようにする。

**提出課題**

不定期に小テストや時間内課題を実施する。また、レポート課題を課すことがある。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

課題に関して、講義内または次回の講義内に解説する。

**評価の基準**

期末試験(50%)、時間内課題およびレポート(50%)によって評価する

**履修にあたっての注意・助言他**

資料は事前にキャンパスクロスで確認すること。時間内にResponによる課題を課すので、Responの準備をしておくこと。  
講義の進み具合により、前回は配布した資料を用いることもあるので、その回の資料のみではなく、前回までの資料も準備しておくこと。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2024.

	日経BP	1430	4296070835

**その他**

授業中に適宜サポートする。  
なお、配布プリントはキャンパスクロスを介して行うので、事前に入手してから授業に臨むこと。  
講義の進度により、前回までの資料を用いることもあるので、その回の資料のみではなく、以前の回の資料も持参すること。

**授業計画**

1. 情報社会の様々なサービス
2. 情報社会を支えるシステム
3. 情報社会のセキュリティ
4. アナログとデジタル
5. メディアと情報の表現
6. ノンバーバルコミュニケーション
7. コンピュータの構成
8. コンピュータの動作の仕組み
9. コンピュータの動作の仕組み(2)
10. インターネットの仕組み
11. インターネットの仕組み(2)
12. OSとアプリケーション
13. データベース
14. データベース(2)
15. 情報技術の進化による社会の変化

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

授業資料 ノートなどを読み返し、授業内容の理解に努めるよう復習をすること。  
なお、復習には、以下の時間を要する。  
1) 授業内容を振り返り要点をノートにまとめる(1.5時間程度)  
2) 授業中に指示した用語について意味を調べ(1.5時間程度)  
3) 時間内に指定した練習問題への取り組み(1時間程度)

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

到達目標を達成することで、情報学分野に関する専門的な知識を身に付け、情報を分析・活用できる力を身に付けることができる。また、経済社会の様々な問題に対して情報技術を用いた解決策を提案できるようにする。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

講義中、Responを用いて小テスト等を実施する。

**実務経験の有無及び活用**

該当なし  
なお、外部講師を招聘する際、外部講師は実務経験者となる。

**備考**

外部講師招聘により一部変更することがあります。